

いざ往かん！

太田東高校キャリア教育部

2020.7.7(火)発行 No. 7

栃木県の大学を知ろう！

～シリーズ：大学について知ろう（その5）～

今回はお隣の栃木県です。実は栃木県には国公立大学が一つしかありません。それが国立の**宇都宮大**ですが、県で一つと聞くとさぞかし難しいと思いきや、意外にそうでもありません（その理由は大学訪問記の中に出てきます）。群馬大にはない学部もあるので狙ってみてはいかが？ 私立大で珍しいのが下野市の**自治医科大**。この大学は都道府県が出資し合って作った大学で、医学部は都道府県ごとに各県2～3名の合格者を選抜し、入学金・授業料は貸与（卒業後の一定期間その県の指示する過疎地や離島の医療機関で働けば返還義務免除！）というユニークな制度があります（看護学部にはこの制度なし）。毎年太東からも入学しているのが大田原市にある**国際医療福祉大**。保健医療系の学科は全てそろっており、数年前に千葉県の成田にもキャンパスを作り念願の医学科も開設しました。小山市にある**白鷗大**は太東生が自宅から通学できる大学の一つで、経営・法・教育の3学部があります。なお、栃木市にある**國學院栃木短大**から東京の國學院大に編入してゆくのはちょっとした裏技の一つ。

以下の文章は**4年前（2016年）**に私が宇都宮大学へ勝手に行ったときのことを書いたものです。オープンキャンパスも今年はWebばかりなので、これで下野路の雰囲気を味わってくださいな。

UTSUNOMIYA UNIVERSITY

宇都宮大学に行ってきました…



駅前の餃子像

宇都宮市は北関東最大の魅力あふれる街で、群馬県からだとわずか90分で到達！

先日発表された全国魅力度ランキングで最下位を争った群馬・栃木・茨城の北関東3県の中で、全国46位だった栃木県（群馬は45位、茨城は47位）ですが、その県庁所在地である宇都宮市は人口50万人を超える北関東最大の都市なのです。そして、宇都宮と聞いて最初に思い浮かべるのが「餃子」！ 何とも庶民的な名物で、市内には餃子専門店がひしめき合い、JR宇都宮駅前には地元の大谷石で作られたちよっぴり色っぽい「餃子像」があったりします。でも、宇都宮市には餃子以外にも有名なものがあるのです。それが「カクテル」と「ジャズ」という餃子とは対照的に大人っぽく洗練された一面。バーテンダーの数とレベルは銀座と比肩するほどと言われ、また、アルトサックス奏者の渡辺貞夫をはじめ多数の有名ジャズ奏者を輩出している街で市内にもライブハウスが数多くあるのです。パルコや109は閉店してしまいましたが、東武百貨店や地元デパートは健在で、子どもから大人まで楽しめそうな街が宇都宮…この街まで県内から小山経由で1時間30分もあれば行けちゃうのです。

宇都宮大学は関東にある国立大学では入りやすく、お得感のある大学なのだ…

ところで、栃木県には国公立大学が1つしかないの、さぞかし地元の栃木県から優秀な学生が集まるかと思いきや、栃木県の先生たちから聞いた情報によると実態は真逆で、栃木県内の学力上位校の生徒からは人気がないらしいのです。調べてみると（以下、数字は現浪合計で（）は現役）、栃木県トップの学力を誇るU高の今春の宇都宮大合格者数は7（5）、2番手のU女は15（13）。県南部の伝統校であるT高・T女はとも

に18で、結局20名以上なのは私立S学院27、U北22、宇都宮市南部の共学校Iの20と、わずか3校でした。これが、群馬大学における群馬県内高校の合格者数となると全然違うのです。中毛のM高の今春群馬大合格者数は47（40）、M女が51（48）。西毛のT高39（30）、T女34（32）。東毛のO高36（35）、O女22（21）と、トップクラスの進学校から大量の合格者を輩出しているのです…。宇都宮大学と群馬大学で、なぜこんなにも県内評価が異なるのでしょうか？ 一つには医学部があるかないかで、大学としてのステータスが違ってくるということが挙げられます。また、栃木の方が群馬よりも東京志向が強いようにも感じます。宇都宮は新幹線・東北線（宇都宮線）・東武線で東京方面とつながっており、群馬以上に首都圏に出て行きやすいのです。でも、宇都宮大学には群馬大学に存在しない地域デザイン科学部・国際学部・農学部があり、しかも入試でのライバルに栃木県のトップ層がいなくなれば、これは狙い目の大学と言っていいかもかもしれません！

紅葉の上に降り積もる雪… 秋冬混在した宇大峰キャンパスを歩く

宇都宮大学のキャンパスは2つに分かれており、国際・教育・農の3学部が宇都宮駅から東へ2キロちょっと離れた峰キャンパスにあり、地域デザイン科学・工の2学部がさらに2キロほど東へ行った陽東キャンパスにあります。JR宇都宮駅からバスに乗って15分ほど、宇大前というバス停で降りると（駅から210円）、目の前が峰キャンパスの正門です。この日は11月だというのに雪模様の天候で、正門を入るとすぐ右手に農学部の誇るフランス式庭園が雪をかぶって広がっています。寒い！でも物好きな私は誰もいないフランス式庭園を横切り、その先のイギリス式庭園も鑑賞し、学生食堂のある学生会館へ。学生食堂はそれほど広くなく、カフェテリア形式です。丼物コーナーの熟女に売れ筋を聞いたのですが、栃木弁であれもこれも紹介するので結局訳が分からなくなり、「人気No1」表示のある「豚みそ焼肉丼」（中盛、380円）を注文、目の前にあった「ほうれん草のお浸し」（60円）もトレーに載せ、味噌汁を…と探しても見あたらないので、先ほどの丼物熟女の所へ戻り「味噌汁はどこで…」と聞くと、「ここですよ」とあっさり返答。「なぜさっき『味噌汁おつけしますか』と聞かんのじゃ」と心の中で叫びながら「お願いします」と味噌汁（30円）をゲット。というわけで、計470円の豪華昼食代をレジで支払い、開店直後で学生も少ない食堂で、大学構内を眺めることのできる窓際に陣取り実食です。うっ、これは美味い。さすが人気No1だけのことはある。厨房熟女が少し気が利かないことは許してあげることにしよう、と思ったのです。豚みそ焼肉丼をほおぼっていると、何だか窓の外からキャーキャーと賑やかな声が聞こえてくるので、外を見ると男女数名の宇大生たちが雪合戦をしているではありませんか！ お前ら小学生か！ と心の中で叫びつつ、何だかほほえましくも感じ、群馬県人が入学しても十分溶け込めそうな大学と確信したのでした…。



宇大峰キャンパス構内

附属図書館でゆったりと読書しながら宇大生気分になる…そして今回のお土産は？

昼食後は外を歩き回る気にならず、図書館で過ごすことにします。職員に利用できるか聞くと、用紙に名前を記入すれば良いとのこと。あっさりとは進入成功です（私の経験では、私立大は学外者はダメと断られることもあるのですが、国立大の図書館はだいたいOKが出ます）。宇大生に混じって午後のひとときを図書館で優雅に過ごした後、再びバスに乗って宇都宮駅に戻ったのでした…。

ところで今回のお土産を昼食後に生協購買部で物色しました。農学部があるので「米」や「うどん」「酒」なども売っていたのですが重いので断念。結局、いつものように「大学ロゴ入りシャーペン」（108円）と「クリアファイル」（97円）をゲット。さらに隠し球として「宇～太クッキー」（2個入り、180円）も購入しました。ただ、これだと何だか寂しいので、最後に群馬へ戻る際に宇都宮駅で売店のきれいなお姉さん一押しで冷凍餃子を購入（30個入り、1150円＋保冷袋200円）。餃子好きの息子とカミさんの喜ぶ顔を思い浮かべつつ帰宅したのですが、ドアを開けるやいなやカミさんに「夕食の残りの餃子があるんだけど食べる？」と聞かれた私は、無言のままひっそりと冷蔵庫の冷凍室に土産の餃子を隠したのでした…。